



うみつばめ

CT装置が新しくなりました！
(詳しくは5Pをご確認ください)

基本理念

私たちは、地域の中核病院として、住民の立場にたち住民の健康、福祉、安全の向上に貢献します。

基本方針

1. 私たちは、患者さまの心(心身)の痛みに関心し、やさしさと思いやりのある医療を目指します。
2. 患者さまの医学的情報について、十分な説明を行い、理解と納得に基づいた医療の実践を行うとともに、個人情報の保護に努めます。
3. すべての職員が連携して、患者さまの満足と信頼が得られる医療の実践に努めます。
4. つねに医療の安全に関する知識と技術の向上に努めます。
5. 地域の医療、保健、福祉、介護との連携強化に努め、地域に開かれた病院を目指します。
6. つねにコスト意識をもって業務の効率化と能率化を図り、健全運営に必要な財政基盤確保に努めます。



骨粗鬆症について

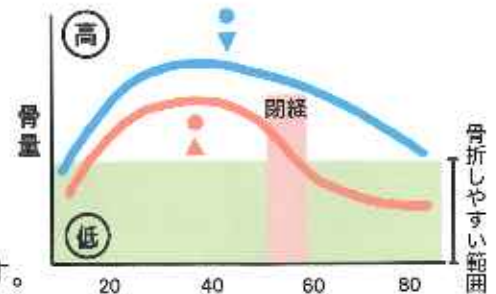


Q1 骨粗鬆症とは？

骨粗鬆症は、骨量（骨密度）が少なく、また、骨質が劣化することで骨がもろくなり、骨折が起きやすい状態になっているか、もしくは骨折がすでに起きている疾患のことです。

Q2 骨粗鬆症の原因は？

「骨密度」は男女とも幼少期から増え続け、20歳頃に最大となり、その後40歳半ばまで横ばいで推移し、50歳近くからは減少し始めます。特に女性は男性と比べて骨密度が急激に減少します。これは、骨量の減少する主な原因が閉経と加齢であるためです。骨強度を決めるもう1つの要素である「骨質」も、閉経や加齢のほかに、様々な疾患に対する治療で使用するステロイド薬などの影響で劣化することも指摘されています。



Q3 骨粗鬆症の症状は？

骨粗鬆症は骨がもろくなる疾患ですが、ほとんどの場合、発症初期は痛みが出ず症状がありません。症状が現れるときには既に骨粗鬆症が進行していることもよくあります。また、自覚症状がほとんど現れない骨粗鬆症で最も注意したいのが、骨折です。骨粗鬆症の患者様では、転倒したり、重たいものを持ち上げたときなどちょっとしたことで骨折することがあります。こういった骨折を脆弱性骨折びじやくせいせいと呼び、起きやすい部位としては、背骨、腕の付け根、足の付け根、手首などです。また、これらの中でも背骨の脆弱性骨折に関しては、患者様はその痛みが骨折によるものだと気づかないこともしばしばあります。背骨の骨折は一箇所折れたままだと、別の箇所の背骨の骨折が起きやすく、背中や腰の曲がるリスクが高くなってしまいます。この曲がりあまりにもひどい場合は、臓器が圧迫されることで胸やけや息切れといった症状が現れることもあります。

Q4 骨粗鬆症の検査は？

上述したように、骨粗鬆症は発症しても自覚症状のないことが多く、骨折が起きるまでに気づくことが難しい病気です。そのため病院で骨の検査をして、自分の骨の強さ（骨密度）や状態を把握して骨折を予防することが重要になります。骨密度を調べる検査は大きく2種類に分けられ、①X線を用いる方法と、②超音波を用いる方法があります。この中でも精度の高い検査法として、二重エネルギー X線吸収法（DXA）というものがあり、骨に2種類の X線を当てて骨量を測る検査があります。通常のレントゲン写真撮影に比べて被ばく量は少なく、短時間で検査結果がでます。当院では、いつでもこの DXA という検査ができます。



Q5 骨粗鬆症の治療は？

骨粗鬆症の治療は、患者様の年齢や骨量の減少具合によりますが、治療法の中心は主に「薬物療法」で、食事療法と運動を並行して行っていきます。既に骨折している場合は、骨折箇所をギプスで固定し、必要であれば手術で治療しながら薬物療法を行います。薬物療法では、骨の代謝にかかわっている破骨細胞という骨を壊す細胞の活動を抑える薬や、骨芽細胞という新しい骨を形成する細胞の活動を促進する薬などを使います。また、カルシウムやビタミンなど、骨に必要な成分や骨代謝をサポートするような薬も同時に使われることがあります。1週間に1回内服する薬や、1ヶ月あるいは半年に1回注射をする薬など種類は様々です。患者様の病状やライフスタイルに合わせて適切な薬剤を選択していきます。



【文責：整形リハビリテーション科 医師 石澤 命彦】



認知症予防教室



◎認知症予防教室とは？

高齢化が進む地域で、当院では地域の健康な高齢者を対象に「認知症予防教室」に取り組んでおります。令和5年3月から始めたこの教室は、3か月に1回実施しており、令和6年9月で7回目の開催になりました。当院中庭のレイズドベッド（腰の高さのプランター）に季節の花を植える園芸活動を中心に、フォークダンスや軽い運動、合唱、趣味や最近楽しかったことなどを発表し、にぎやかに過ごしております。



定期的に参加者同士が顔を合わせることで、新たなコミュニティができつつあり、そこでは、共通の趣味や関心事について話し合ったり、共に活動を楽しんだりすることで、絆を深めることができいております。参加者同士が互いに学び合うことで、心の活性化や知的な刺激をもたらし、認知症の予防や脳の健康にもつながることを期待しています。高齢になると、身体的・社会的な変化により、友人や家族との交流が少なくなりますが、認知症予防教室としての交流の場では、同

世代の仲間との交流が可能になります。また、スタッフ等の若い世代との交流を促進することで、世代間の理解や支援が生まれ、共に成長する機会となります。

認知症看護認定看護師として認知症予防教室の活動を通じて、高齢者自身の生きがいや笑顔を育み、地域全体が支え合いながら、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていける社会を目指すことにつなげたいです。



【文責：看護部 認知症看護認定看護師 寺島 真由美】

便潜血検査について



便潜血検査とは？

便潜血検査とは、便の中の血液を検出することで、消化管での出血の有無を調べる検査のことをいいます。目で見ても分からないような少量の出血でも見つけることができるため、健診でよく行われます。

ヒトの赤血球に含まれるヘモグロビンを測定するため食事制限の必要はなく、便を用いるので内視鏡検査より簡単に出血を調べることができます。

また、早期の大腸がんは常に出血している訳ではないため、便の採取を2日に分けることで検出率を上げることができます。



便潜血検査でなにが分かるの？



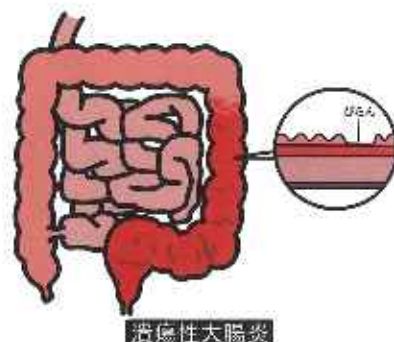
この検査は、消化管で出血を伴う疾患（大腸がんや炎症性腸疾患）のスクリーニング検査です。

大腸がん健診では進行がんの約80～90%、早期がんの約50%を発見できます。

大腸がんは40歳を過ぎたあたりから罹患率が上昇しますが、早期発見でほとんどの方が完治します。しかし、早期の大腸がんは自覚症状がほとんどなく、気付かないうちに進行します。そのため定期的に健診を受け進行する前に発見することが重要になります。

大腸がんのほかに注意が必要なのが、潰瘍性大腸炎です。発症のピークは20～30歳で若者に多く発症します。潰瘍性大腸炎は大腸の粘膜におこる炎症性疾患で、特徴的な症状として、よく起こる腹痛と、下痢（血便を伴う）です。

潰瘍性大腸炎は放置すると大腸がんの発症リスクが高まります。「便に血が混ざる」「便秘と下痢を繰り返す」といった症状のある方や40歳を過ぎても大腸がん健診を受けたことのない方は一度検査を受けてみてはどうでしょうか？



【文責：臨床検査部 岡井 佳弘】

X線CT装置の更新について

最新の80列マルチスライスCT装置を導入

当院では本年9月にキャノンメディカルシステムズ社製の全身用80列X線CT装置「Aquilion Prime SP iEdition」を導入致しました。



最高水準の精密検査を受けていただけます



0.5mm×80列の高精細検出器を搭載しており、広範囲を高速（従来装置の約2倍速）で撮影可能です。頭部疾患、胸腹部疾患など全身をより早く、より細かく撮影することができ、短い息止め時間で高品位な検査が完結致します。

被ばく線量・体内金属による画像の乱れを低減

水晶体や乳房の被ばくを抑える技術を搭載し、より質の高い検査を、より低い被ばく線量（従来装置の約半分）にて実現できるようになりました。また、以前より問題となっていた人工関節などの画像の乱れを除去する機能を搭載し、診断上の問題が劇的に改善されます。

780mmの大開口径

X線CT装置の開口部は780mmのワイド設計のため、検査中の圧迫感を感じることの少ない装置で、病態によって動きが制限される患者様でも安心して検査を受けて頂けます。

AI（人工知能）技術を搭載

最新技術である人工知能ディープラーニングを用いて設計した画像再構成技術を搭載しており、ノイズの少ないクリアな画像を得ることが出来、その技術を活用する事でさらなる被ばく低減が可能となりました。



患者様に優しいX線CT装置

このたび導入されたX線CT装置を一言で表現すると「患者様に優しいCT」と言えるでしょう。一般検査、精密検査、救急検査、低線量CT検診など、これまでより短時間で高画質かつ低侵襲な検査として、地域医療に最適なCT検査が新しく提供できると考えております。

【文責：放射線部 徳田 憲彦】

マイナンバーカードが保険証として使用できます。

くしもと町立病院では、保険証の代わりにマイナンバーカードによる「マイナ受付」に対応しています。

ご利用の際には、ご案内いたしますので総合受付へお申し出ください。



マイナ受付

対応しています

医療機関や薬局で、保険証の代わりにマイナンバーカードを使う新たな方法。それが「マイナ受付」です。



マイナンバーカードが
保険証として使えます。

(上記画像は厚生労働省 ホームページより引用)

保険証の代わりにマイナンバーカードで

マイナ受付



(当院に設置しているマイナ受付の機器)



小児科の診察時間変更のお知らせ

11月以降の以下の診察日は、午後の診察が15時からとなります。

11月7日 11月28日 12月19日

※変更があった場合は、改めてお知らせします。

